

推薦順位 位

令和 年度

都道府県番号

支部名

優秀勤労者推薦書（理事長表彰）

1 勤労者情報										
(ふりがな)	こうしょう たろう			(西暦)	〇〇〇〇 年 〇 月 〇〇 日			(推薦年の6月1日現在)		〇 歳
①氏名	高障 太郎			②生年月日・年齢						
(ふりがな)	かぶしきがいしゃ まるまるまるまる			※ ①、③～⑤に記載された内容をもとに報道発表原稿と表彰状を作成しますので、誤字等ご注意ください。		④所属部課名		〇〇部〇〇課		
③勤務先事業所名	株式会社 〇〇〇〇					⑥厚生労働省編職業分類				
(ふりがな)	まるまるけんまるまるしまるまる			⑤事業所所在地		細分類番号		0 7 3 - 0 1		
⑤事業所所在地	〇〇県〇〇市〇〇3-1-〇			〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇		職種		エンジン設計技術者		
⑦表彰歴	平成〇〇年〇〇月 〇〇県障害者雇用開発協会会長表彰 平成〇〇年〇〇月 〇〇県知事表彰			⑧年齢		(推薦年の6月1日現在) 35 年 2 月				
⑨障害名・障害程度	※該当する障害名の欄に○を入力。障害の程度欄は、等級又は○を入力。									
	障害名		障害程度		障害名		障害程度			
	身体障害				知的障害					
	視覚障害		第 1 種 2 級				(1)療育		A	
	聴覚障害		○				(2)判定		有	
	音声・言語									
肢体不自由										
内部障害										
【知的障害の障害程度について】 (1)療育手帳による程度の区分 療育手帳等で次の記載が確認される場合は 「A」に○を入力。(㉔、A、A1、A2、A3、1度、2度、A重、A中、A2a、A2b、A最重度、A重度) それ以外は「B」に○を入力。 (2)判定書による重度判定 判定書で重度の判定となっている場合は、「有」に○を入力。それ以外は「無」に○を入力。										

候補障害者の仕事の内容を「厚生労働省編職業分類表」に添って記載のこと。職業分類番号は同分類表の細分類番号を記載してください。「厚生労働省編職業分類表」は「ハローワークインターネットサービス」の職業情報から検索できます。

2 推薦理由

- ・昭和60年の入社以来37年間、一貫して要具設計に務めている。
- ・勤務の前半は生産ライン設計関係の検査具設計を主に担当し、その間に〇〇2級、〇〇1級と資格取得している。検査具の設計には検査基準や付随する箇所決め等専門設計が必要になるが、一つ一つ丁寧に使い勝手の良いものを設計し、基本的な技術もしっかり身に付けている。
- ・普段の会話は相手の口の動きを見て理解できているが、重要な部分や細かいことは自分から必ず質問し、筆談を交えて確実に理解している。職場のメンバーも当然のこととして理解しており、業務以外にも雑談して、コミュニケーションを取っている姿をよく見かける。
- ・平成10年ごろから所属が変わって、生産ライン向けの設計に携わり現在に至っている。所属の変更とともに社内において、生産ラインの設計を部品ごとにチーム化したことに伴い、これまでの取り組み姿勢から、チームリーダーに就任してもらい後輩や若手の指導にもあたっている。
- ・指導に当たっては口話だけでなく、正確にこれまでの経験や見知を含め説明する必要があるため、自ら上司とも相談し工夫した説明資料を作成している。この資料が社外への仕様説明資料の参考となり、現在でもチーム内で共有し、大変役立っている。
- ・生産ラインの設計はここ数年変化も激しく、関連部門との連携も重要になり、意見交換会、技術委員会など社内でチーム間を飛び越えた業務の検証等も頻繁に行われているが、そういった際には、積極的に上司や、チームのメンバーと意見交換しながら対応している。
- ・年齢とともに実績を積み上げ、チームリーダーとしても活躍している姿は社員の模範である。
- ・社内のクラブ活動でもサッカー部に籍を置き、クラブ活動や活動後の付き合いにも参加するなど、公私ともに何事にも積極的に取り組んでいる姿勢は表彰候補にふさわしいと考える。

推薦候補者の勤続年数・その間の業務内容・その仕事をするにあたりどのように障害を克服してきたか・入社当時と現在の状況を比べて、どのような変化があるか、また変わらず継続していることがあるか・候補者の勤務態度はどうか・候補者がどのような業績を上げてきたか・職場の同僚や上司、部下からどのように思われているか等について候補者が受賞するにふさわしい理由を記載してください。